

# 国立科学博物館について

国立科学博物館は、我が国を代表する総合的な科学博物館であり、自然史、科学技術史に関し、中核的な研究機関及び主導的な博物館としての役割を担っている。

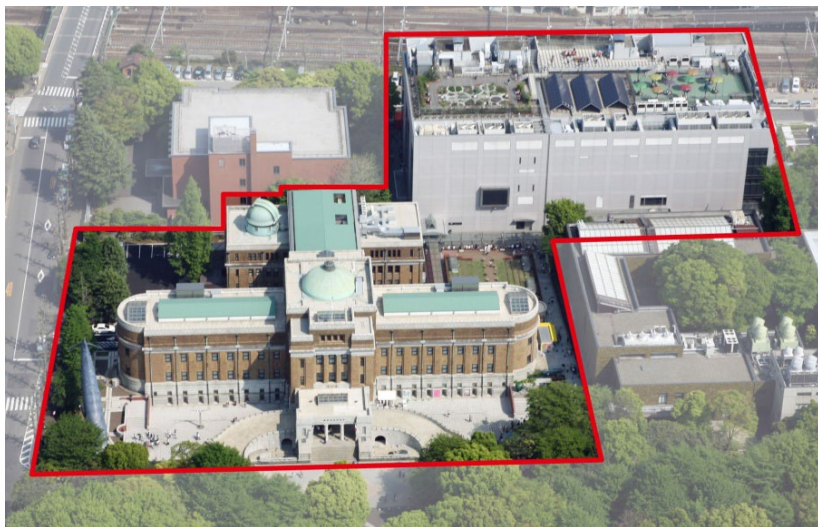


## 【沿革】

- |       |  |
|-------|--|
| 明治10年 | 創立（教育博物館）                                      |
| 昭和 6年 | 上野新館（現日本館）竣工                                   |
| 昭和24年 | 文部省設置法により「国立科学博物館」設置                           |
| 昭和37年 | 附属自然教育園を設置                                     |
| 昭和47年 | 新宿地区に分館庁舎竣工。研究部門を移転                            |
| 昭和51年 | 筑波地区に筑波実験植物園設置                                 |
| 平成13年 | 独立行政法人化  |
| 平成23年 | 筑波地区に自然史標本棟，総合研究棟竣工。<br>新宿地区から研究部門を移転し筑波研究施設設置 |
| 平成24年 | 新宿分館及び産業技術史資料情報センターが<br>筑波地区に移転                |
| 平成30年 | 文化庁の所管となる                                      |
| 平成31年 | 科学系博物館イノベーションセンターを設置                           |



# ○国立科学博物館の施設



本館（台東区上野）



筑波地区（つくば市）

- ・筑波研究施設（動物・植物・地学・人類・理工学各研究部等）
- ・筑波実験植物園



附属自然教育園（港区）





# ○国立科学博物館の業務



調査・研究

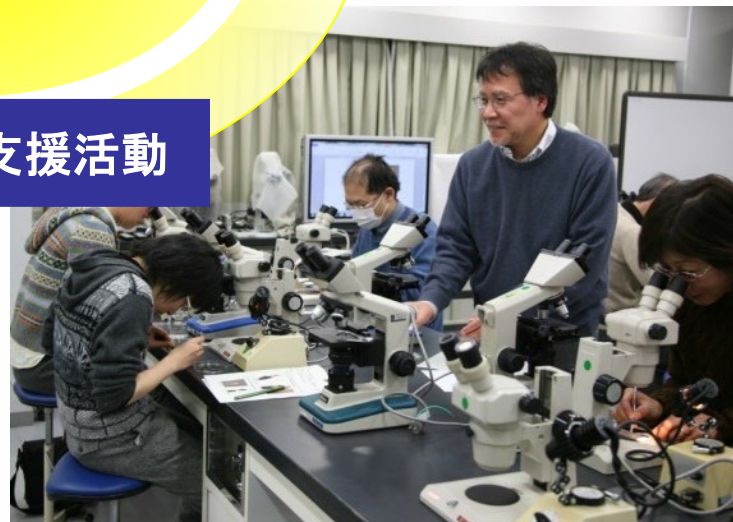


標本・資料の  
収集・保管・活用

有機的に連携した  
一体的な展開

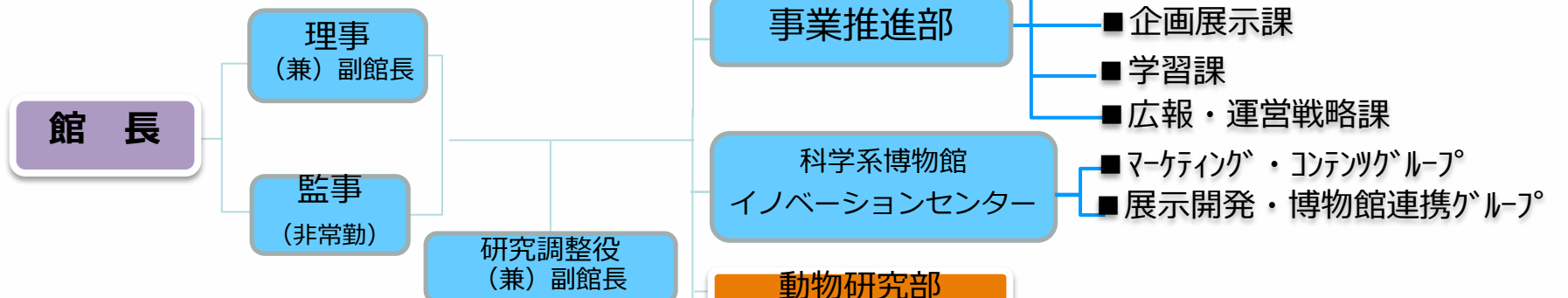


展示・学習支援活動



National Museum of Nature and Science

# ○機構・役職員数



## <常勤役職員数>

役員 2 人

職員 1 4 3 人 (事務系 8 1 人、研究系 6 2 人)

※令和4年10月1日現在

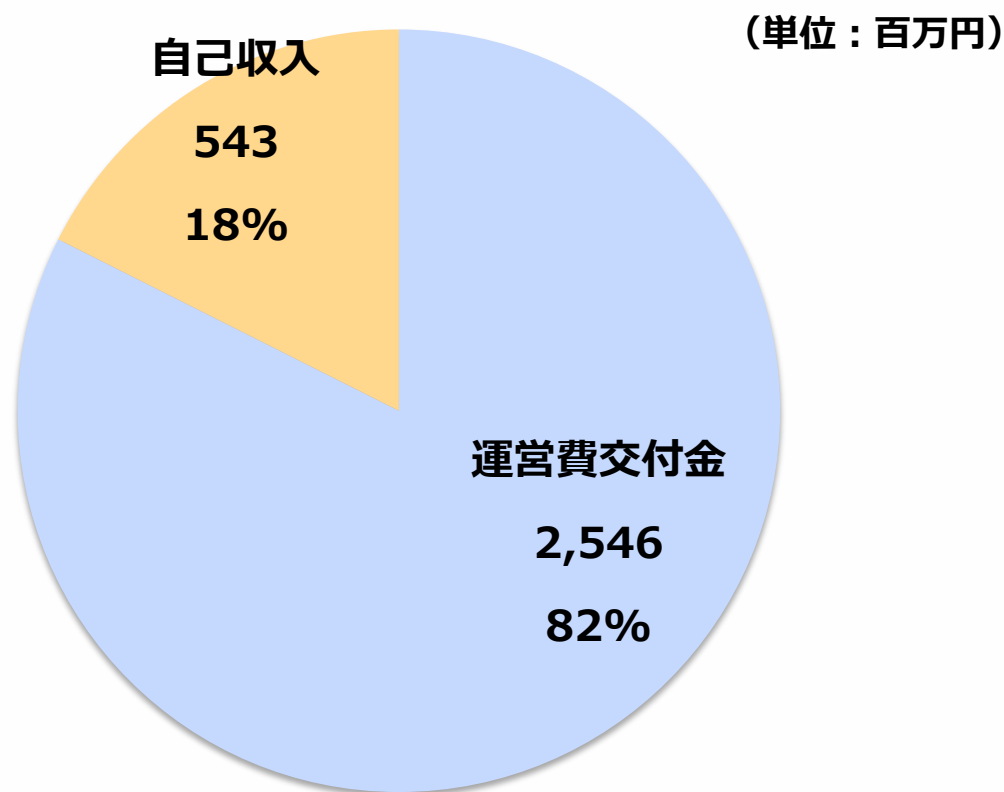


National Museum of Nature and Science

■ 監査室

## ○国立科学博物館の令和4年度予算について

運営費交付金・・・2,546百万円(令和3年度予算：2,925百万円)  
自己収入・・・543百万円(令和3年度予算：393百万円)



# ○事務系職員の主な配属先

※枠内は令和4年10月1日現在の所属常勤職員数（括弧内は非常勤職員数）

**経営管理部**（総務課、財務課、研究推進・管理課、施設整備主幹、情報化推進室）

31(20)

**事業推進部**（常設展示・博物館サービス課、企画展示課、学習課、広報・運営戦略課）

26(15)



常設展示



特別展



学校向けプログラムの様子

# 科学系博物館イノベーションセンター

（マーケティング・コンテンツグループ、展示開発・博物館連携グループ）

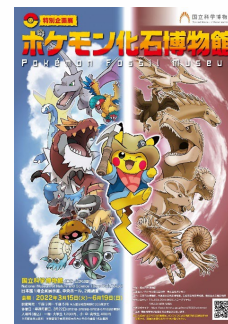
13(6)



日能研との共催イベント

「サイエンスで探究講座～水中の小さな生き物をかんさつしよう」

巡回展



© 2022 Pokémon. © 1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは 任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。



National Museum of Nature and Science



# ○事務系職員の人材確保・育成の取組について

## 1. 人材確保の方法

新卒採用	国立大学法人等職員採用試験を活用し、幅広い教養及び基礎的な外国語の能力を備え、多様な能力及び経験を有する者を採用。	
中途採用	専門的な能力及び経験を有する人材を確保するため、選考採用を活用し、社会人経験者及び館内の有期雇用職員からの登用を促進。	民間企業等において展示の企画・デザインや運営等の職務経験があるものを中途採用。

## 2. 人材育成等への取組

職務経験の付与	<ul style="list-style-type: none"><li>採用時から概ね係長となるまでの間に、国立科学博物館内における複数地区の業務を経験する等、多様な勤務の機会を付与する。</li><li>職員の配置換えに当たっては、施策上の課題や業務の繁閑等への対応、同一ポストに長期間就けることに伴う弊害の防止等を勘案しつつ行う。</li></ul>	
人事交流等の推進	相互理解の促進及び幅広い視野を有する人材育成の観点から、関係機関及び民間企業等との人事交流を推進。	文化庁、東京国立博物館、国立大学等、独立行政法人、千葉県教育委員会、民間企業等の間において人事交流を実施。

## 3. その他人材確保・育成のために必要な取組

能力開発の推進	OJT、OFF-JT及び職務付与を相互に効果的に組み合わせることにより、職員のキャリア形成や中長期的な能力向上を支援。	
職員の仕事と生活の調和の推進	育児短時間勤務やテレワークの活用により、それぞれの職員の状況に応じた柔軟な働き方を推進。	



## ○研究組織

研究調整役

1 (1)

動物研究部

17 (18)

植物研究部

16 (16)

地学研究部

13 (13)

人類研究部

5 (5)

理工学研究部

8 (8)

筑波実験植物園 (S51)

— (8)

附属自然教育園 (S37)

— (4)

標本資料センター (H18)

1 (8)

分子生物多様性研究資料センター (H18)

— (6)

昭和記念筑波研究資料館 (H5)

— (3)

産業技術史資料情報センター (H14)

1 (4)



ミャンマー標本の研究風景



エチオピアでの洪水玄武岩の調査



古代人のDNA抽出作業



質量分析計による隕石の同位体分析



※数字は令和4年10月1日現在の専任研究員数：合計62名（括弧内は兼任を含めた研究員数）

National Museum of Nature and Science



# ○研究系職員の人材確保・育成に向けた取組について

## 1. 人材確保の方法

採用	<ul style="list-style-type: none"><li>・募集方法については、原則として公募によることとし、その方法は、関係機関への公募推薦依頼、学会誌等に公募の掲載を行うなど、広く全国に募ることにより実施。</li><li>・能力の実証に基づいた優れた人材を確保するため、研究員選考審査委員会を設置し、選考審査を行う。</li></ul>	
テニュアトラック制の導入	選考により採用された研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者として経験を積むことができる仕組みを導入。	

## 2. 人材育成等への取組

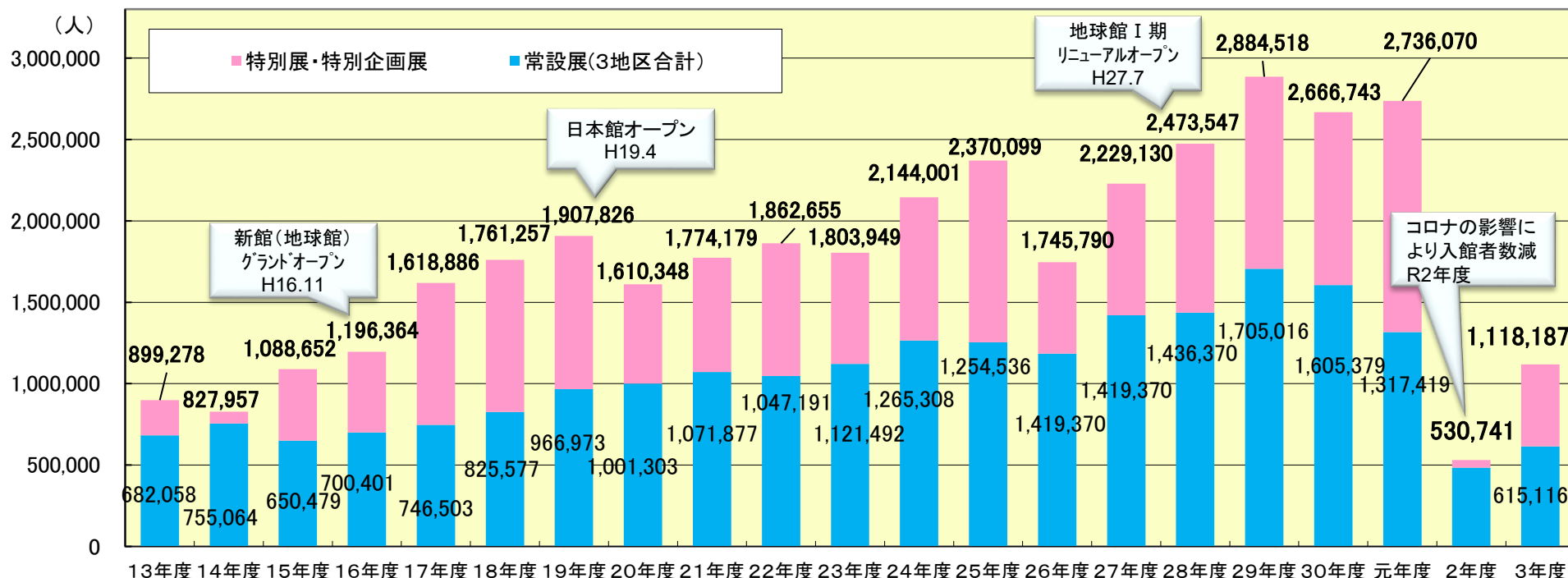
テニュアトラック制の導入【再掲】	上記に同じ。	
職務経験の付与	調査研究、標本資料の収集・保管の他、展示・学習支援等の業務に従事。	
人事交流等の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・自然史及び科学技術史研究の中核的機関として、外部の研究者との共同研究等を推進。</li><li>・連携大学院制度の活用等により、研究員を大学等に派遣し、将来を担う人材の育成に協力するなど外部との交流を促進。</li></ul>	
クロスアポイントメント制度の導入	研究者が大学、公的研究機関、企業の中で、二つ以上の機関に雇用されつつ、一定のエフォート管理の下で、それぞれの機関における役割に応じて研究・開発及び教育に従事することを可能にする、クロスアポイントメント制度を導入。	令和3年度は国立大学から研究者を1名受け入れ展示等業務に従事。さらに、現在、別の国立大学へ研究員を教授職として1名派遣する方向で調整中。



# ○入館(園)者数の推移

・令和3年度 **1,118,187人**

上野本館 926,369人  
 筑波実験植物園 72,921人  
 自然教育園 118,897人

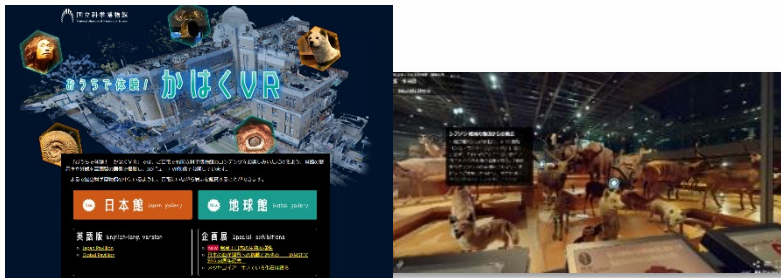


# ○その他

## VR技術を用いた展示公開

### ・おうちで体験！かほくVR

常設展示にある標本・資料、約25,000点を3Dビュー+VR映像で、展示室にいるかのように楽しむことができる。



### ・「剥製 3D デジタル図鑑 “Yoshimoto 3D”」

大型哺乳類を主とする「ヨシモトコレクション」の剥製3Dモデルと生物種の様々な情報を図鑑のように閲覧できる。



## 動画コンテンツの配信

### ・YouTubeによるライブ配信



### ・Instagramによるライブ配信



当館の調査・研究事業や企画展示について、楽しくより深く知っていただくために、研究者による研究活動紹介や監修した展示を解説する動画をYouTubeやInstagramライブを実施するとともに、ライブ配信の様様を各媒体でアーカイブとして公開している。



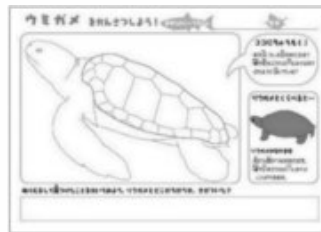


## ご自宅で楽しめる“かはく”コンテンツの提供



(自宅から“かはく”を楽しみいただけるようなコンテンツを制作し、ホームページ上に専用ページで公開・提供している。)

- ・「おうちで！かはく・たんけん教室」のコンテンツ配信



「かはくVR」を見ながらぬりえやクイズを楽しめるコンテンツや、ワークシートの公開などを実施。

- ・ 附属自然教育園ミニ企画展関連トーク「オオタカの子育てを振り返ろう！」のライブ配信



附属自然教育園内のオオタカの繁殖の様子をライブ配信。

- ・ 学習コンテンツ「かはくのいろは」の配信



事務職員で動画制作ワーキンググループを組織し、博物館活動を紹介する動画を配信。

- ・ 研究者が『収蔵庫の貴重な標本』を紹介する動画を配信



筑波地区の収蔵庫や植物園にある標本コレクションの紹介をする動画を配信。

